

地域のかかりつけ医でPCR検査が受診できるよう体制の整備を



8月6日に開催された枚方市議会の8月緊急議会において、一般会計補正予算案の中から、地域・外来検査センター運営事業費について質疑を行いました。

この経費は、新型コロナウイルス対策として、必要な検査が迅速に実施できる体制の整備が求められる中、市は保健所を介する従来の方法に加えて、地域の

医療機関から直接受診調整ができる「地域・外来検査センター」を市内に3か所設置するというものです。

センターを設置することで、スムーズな検査につながり利便性が向上すること、またこれまで受診調整を一手に担ってきた保健所の負担が軽減され、クラスター対策を含めた積極的疫学調査などの業務に注力することが可能となることから、今回予定されている3か所だけでなく、さらなる設置についても早急に検討するよう要望しました。

また、今後、さらに感染が拡大した場合でも、市民が必要な時に検査が受けられるよう、地域のかかりつけ医で検査が実施できるようにするなど検査体制のさらなる充実・拡大を図るため、市内の医療機関に協力をお願いするよう要望しました。

市民福祉常任委員会 所管事務調査

成年後見制度の利用促進について

報酬助成制度の要件緩和や市民後見人への支援などを要望

私が委員長を務める市民福祉常任委員会では、今年度「成年後見制度の利用促進について」をテーマに所管事務調査を実施しています。

これまで、実務を行っている専門家をお招きしての勉強会をはじめ、枚方市や府内各市の状況について説明を受けるなど、活発に調査を行ってきました。

10月12日に開催した委員協議会では「成年後見制度利用促進基本計画」の骨子案について担当課から説明を受けた後、各委員が質疑を行い「権利について重点を置いた計画の策定を」「体系的に案内できるネッ

トワークづくりを」「報酬助成のハードルとなっている現行支援制度の要件緩和を」「市民後見人の活躍の場を広める体制づくりや支援を」「計画策定後は進捗管理を適切に行い、議会に進捗の報告を」「財源の裏付け、予算の確保を」などの意見が出ました。

今回、これらの意見を委員会として書面にまとめ、市に提出をしました。この内容が計画の策定に生かされ、成年後見制度を必要とする方の利用が促進される計画となるよう、今後もしっかりとチェックをするとともに議会において提言をしていきます。

かじや知宏 プロフィール

<経歴>昭和43年9月12日、枚方市に生まれる。阪保育所、殿山第二小学校、第三中学校、牧野高校、龍谷大学文学部社会科学部社会福祉学専攻を卒業。(株)報知新聞社での11年間の勤務を経て、かじや行政書士事務所開業。大阪府行政書士会綱紀委員、同企画広報部副部長、同枚方支部副支部長、NPO法人ひらかた環境ネットワーク会議理事、中司宏事務所政策スタッフ等を歴任。

<現在>枚方市議会議員(2期目)、市民福祉常任委員会委員長、病院事業運営審議委員会副委員長、かじや行政書士事務所代表、日本維新の会大阪府枚方市支部政調会長など。**<趣味>**読書、スポーツ観戦、神社仏閣巡り、観劇。

政策や活動の詳細はウェブサイトやSNSをご覧ください



ウェブサイト



Facebook



Twitter



LINE公式アカウント

「友だち登録」をお願いします



右のQRコードをスマートフォンやタブレット型端末のLINEアプリで読み取り「友だち追加」ボタンを押してください。

